




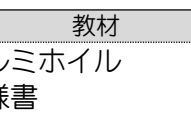
5歳児クラス 8月 第1回 「昆虫とあそぼう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 身近な昆虫に興味を持ち、特徴を知り居場所や生態に関心が持てるようにする。 絵本に実物の大きさも示しながら丁寧に映像を見せていく。 あらかじめ講師がしっかり絵本を読み、内容を抜粋して読んでもよい。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「皆は虫の仲間では何が好きかな? どんな虫を知ってるかな?」「先生、森に行って虫をたくさん見つけてきたんだ」「名前がわからなくて、この本でいろいろ調べたの、皆も一緒に見てみよう」等で導入して話を始める。 	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> • 会話をする • 子どもの一員になりお話を聞く 

がくしゅうタイム

活動①	知識	昆虫が住んでいる所を理解し線を引くことができる	
設問	<p>それぞれの昆虫の住んでいるところはどこですか。 上の昆虫と下の住んでいるところを線で結びましょう。</p>		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保:「お届けものです」封筒に入れたプリントを提示する。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「それぞれの虫がどんな所に住んでいるかのクイズだって」 プリントを配布し、虫や巣の特徴を確認する。 点から点に真っ直ぐな線が引けるようにする。 答え合わせをして、花丸やハンコを押して賞賛する。 		P1 赤鉛筆・ハンコ ★鉛筆 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • プリントを届ける • プリント配布 • 子どものフォロー • 賞賛
活動②	巧緻性	指先を使いアルミホイルで虫を作ることができる	
設問	<p>【アルミホイルアート】 ヘビ・カタツムリ・チョウ・カブトムシ・トンボなどを アルミホイルで立体的に作りましょう。</p>		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保:「虫博士からプレゼントが届きました。」アルミアートを提示(事前にアルミホイルアートを作っておく) 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「すごい素敵だね見せて。」子ども達にも順番に見せる。 講:「先生も欲しいな」 保:「はいどうぞ、これで自分の虫を作ってください」等で1mに切ったアルミホイルをもらう。 講師が見本を見せてから、子ども達も製作する。 昆虫のイメージを高め、細かな部分まで工夫する。 ※仕様書の下段にあるような虫を製作しても良いが、難しいようであれば、上段のように細長くし、クネクネさせたり、丸めてできる、ヘビやカタツムリを皆と一緒に製作しても良い。 講師・保育士でフォローしながら製作する。 出来上がったら賞賛する。 		アルミホイル 仕様書 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • アルミアート提示 • アルミホイル配布 • 子どものフォロー • 賞賛

活動③		表現	自分なりの言葉で表現することが出来る	
設問	【作品発表】 なぜこの昆虫を選んだのか、工夫した部分はどこかなど発表しましょう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「さあ皆で発表会をしましょう」 			教材 アルミホイルアート コピー用紙等(園準備)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 出来上がった子どもから台紙(コピー用紙等に名前を書いたものを事前に準備)を配り作品を台紙の上に置く。 全員で作品を見て回ったり、1人ずつ前に出て発表したり、クラスや時間に合わせて行う。 皆で賞賛をして終了。 出来上がった作品は数日飾っておいてもよい。 			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 子どものフォロー 賞賛

数子ヤレ		数	10個の操作が出来る	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう。			おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 今月は10個の操作です。お皿に5個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿(数個入っている)そこから5個取り5個のお皿に入れて10個になったか数える。 			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 皿提示 子どものフォロー